

平成29年度 第1回 宮崎県交通渋滞対策協議会

目次

1. 宮崎県渋滞対策協議会のこれまでの経緯		1
2. 主要渋滞箇所の解除		2
3. 最新データによるモニタリング結果の報告		11
4. 今後の渋滞対策の進め方		13
5. 今後のスケジュール		24

平成29年8月3日

1. 宮崎県渋滞対策協議会のこれまでの経緯

■宮崎県渋滞対策協議会のこれまでの経緯

平成24年度		平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度		平成29年度
第1回宮崎県交通渋滞対策協議会(H 24・6)	第2回宮崎県交通渋滞対策協議会(H 24・7)	パブリックコメントの実施(H 24・8 H 24・11)		第3回宮崎県交通渋滞対策協議会(H 24・12)	主要渋滞箇所の公表(H 25・1)	第1回宮崎県交通渋滞対策協議会(H 25・7)	第1回宮崎市・都城市 周辺エリアWG(H 26・2)	第1回宮崎市・都城市 周辺エリアWG(H 26・2)
				第1回宮崎市・都城市 周辺エリアWG(H 27・3)	第1回宮崎県交通渋滞対策協議会(H 27・8)	第1回宮崎市・都城市 周辺エリアWG(H 28・1)	第1回延岡市周辺 エリアWG(H 28・3)	第1回宮崎市・都城市 周辺エリアWG(H 29・2)
				第1回延岡市周辺 エリアWG(H 26・2)		第1回宮崎県交通渋滞対策協議会(H 28・7)	第1回延岡市・日向市 周辺エリアWG(H 29・2)	第1回宮崎県交通渋滞対策協議会(H 29・8)

■本協議会の目的

- 最新データによるモニタリング結果の報告
- 主要渋滞箇所の取扱(解除)の具体的な進め方および解除箇所の承認
- 局所改良やソフト対策の状況および今後の対応について確認・議論
- 今後のスケジュールの確認

2. 主要渋滞箇所の解除

(1)最新データによる主要渋滞箇所のモニタリング結果

- 最新の交通データ(H28.3～H29.2)により、主要渋滞箇所の選定基準の該当状況を点検(モニタリングの実施)した。
- 点検の結果、主要渋滞箇所の選定基準に該当しない7箇所(対策済:6箇所、未対策:1箇所)を解除候補箇所として提案する。(詳細はP6以降で説明)
- 今後も経過観察を実施していくとともに、選定基準に該当しない箇所や対策が完了した箇所については、引き続き交通状況のモニタリングを実施した上で主要渋滞箇所の見直しも含めて検討していく。

▼宮崎県内の主要渋滞箇所(一般道)

主要渋滞箇所数	集約区間数	箇所数
226箇所	52区間 (139箇所)	87箇所

箇所: 単独で主要渋滞箇所を形成
区間: 交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

▼主要渋滞箇所(一般道)の点検結果

主要渋滞箇所数	選定基準該当箇所数	選定基準非該当箇所数
226箇所	219箇所	7箇所

▼選定基準非該当箇所(7箇所)

- 小林市金鳥井
- 吾妻町(仮)
- 相生橋北
- お倉ヶ浜海水浴場入口
- 美々津
- 道の駅入口
- 消防南分遣署前(仮)

▼主要渋滞箇所(一般道)の選定基準

曜日・時間帯	選定基準
平日 朝 (7時～9時)	平均速度 20km/h未満
平日 夕 (17時～19時)	※いずれか一方でも該当する箇所
休日 昼 (7時～19時)	



▼宮崎県内でH25.1月以降に整備された主な道路事業

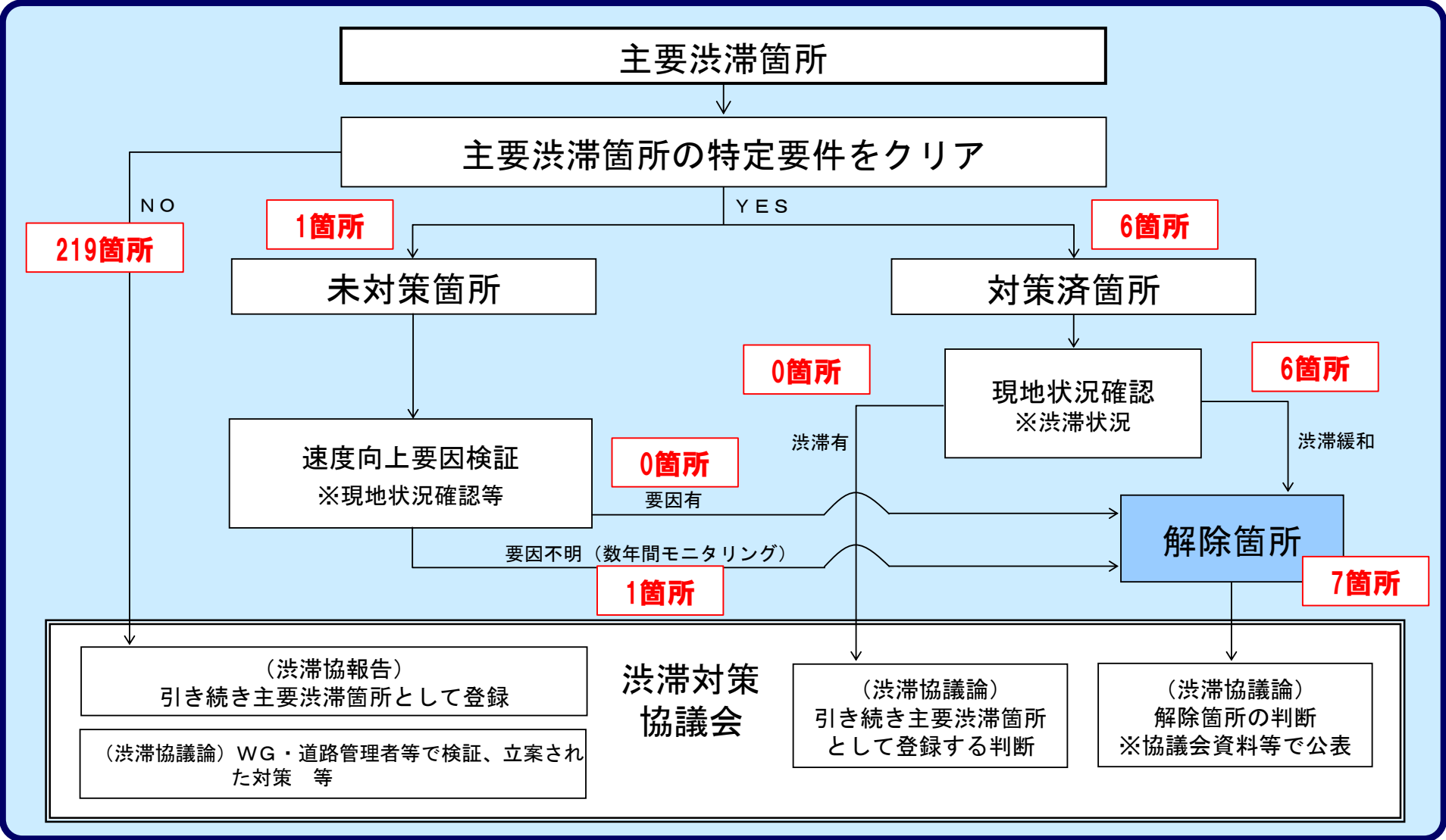


平成25年1月以降に整備された主な道路事業
※主要渋滞箇所の交通状況に影響があると思われる事業

2. 主要渋滞箇所の解除

(2)主要渋滞箇所(一般道)の解除手順

○主要渋滞箇所の解除については、最新のデータや現地状況等を確認し、各箇所毎に協議会で判断して解除を行う。



2. 主要渋滞箇所の解除

■フォローアップ箇所(11箇所)・・・対策済箇所 (宮崎市周辺エリア)

○H25.1月以降に整備された道路事業により、交通状況の変化が想定される主要渋滞箇所のフォローアップ結果一覧を以下に示す。
○相生橋北交差点は宮崎西環状線(松橋工区)の整備、吾妻町(仮)交差点は川原通り線(出来島工区)の整備により、最新プローブデータで全方向20km/h以上(主要渋滞箇所の特定要件クリア)となっており、現地状況でも渋滞解消を確認したため、「解除候補箇所」として提案する。
○フォローアップの結果、相生橋北交差点、吾妻町(仮)交差点を除く9箇所では、依然として主要渋滞箇所の選定基準(旅行速度20km/h未満)に該当しているため、「経過観察」とする。

<道路整備が行われた主要渋滞箇所の点検結果>

単位: km/h

主要渋滞箇所名	市町村名	選定時			最新			道路整備事業	
		平均速度(H24.4-H24.8平均)			平均速度(H28.3-H29.2平均)				
		平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼	主な整備内容	整備時期
新名爪	宮崎市	5.6	4.5	4.0	4.1 -1.5	4.3 -0.2	4.3 0.3	国道10号 新名爪交差点改良 (直進車線の増設、カラー舗装化等)	H26.11
宮崎大橋西(仮)	宮崎市	5.2	5.0	4.6	4.8 -0.4	4.4 -0.6	4.2 -0.4	宮崎西環状線(松橋工区)	H27.12
大工町	宮崎市	5.6	6.8	6.0	3.8 -1.8	5.0 -1.8	5.2 -0.8	宮崎西環状線(松橋工区)	H27.12
県病院西	宮崎市	4.1	5.2	4.7	4.5 0.4	4.5 -0.7	5.0 0.3	宮崎西環状線(松橋工区)	H27.12
西の原	宮崎市	9.4	8.3	8.3	7.6 -1.8	6.5 -1.8	6.2 -2.1	宮崎西環状線(松橋工区)	H27.12
大橋3丁目(仮)	宮崎市	15.6	4.7	5.2	11.0 -4.6	5.1 0.4	7.4 2.2	宮崎西環状線(松橋工区)	H27.12
糸原(仮)	宮崎市	7.7	9.0	7.2	6.3 -1.4	8.0 -1.0	8.8 1.6	宮崎西環状線(松橋工区)	H27.12
小松	宮崎市	9.9	8.5	10.4	8.7 -1.2	8.0 -0.5	9.9 -0.5	宮崎西環状線(松橋工区)	H27.12
相生橋北	宮崎市	6.5	6.3	11.8	36.7 30.2	21.8 15.5	21.4 9.6	宮崎西環状線(松橋工区)	H27.12
相生橋北西側(仮)	宮崎市	13.0	12.4	17.6	8.0 -5.0	10.7 -1.7	12.8 -4.8	宮崎西環状線(松橋工区)	H27.12
吾妻町(仮)	宮崎市	40.7	41.9	15.7	39.9 -0.8	39.0 -2.9	41.6 25.9	川原通り線(出来島工区) (道路拡幅等)	H25.3

解除候補
箇所

解除候補
箇所

※下段は選定時からの増減

データ: プローブデータ流入方向の旅行速度より
(道路整備された方向の最低速度)

2. 主要渋滞箇所の解除

■フォローアップ箇所(6箇所)・・・対策済箇所 (延岡市・日向市周辺エリア)

○H25.1月以降に整備された道路事業により、交通状況の変化が想定される主要渋滞箇所のフォローアップ結果一覧を以下に示す。
○消防南分遣署前(仮)交差点、お倉ヶ浜海水浴場入口交差点、道の駅入口交差点、美々津交差点は、東九州自動車道(日向IC～都農IC)の整備により、最新プローブデータで**全方向20km/h以上(主要渋滞箇所の特定要件クリア)**となっており、**現地状況でも渋滞解消を確認したため、「解除候補箇所」として提案する。**
○フォローアップの結果、美々津中入口交差点、雷管通り交差点は、依然として主要渋滞箇所の選定基準(旅行速度20km/h未満)に該当しているため、「経過観察」とする。

<道路整備が行われた主要渋滞箇所の点検結果>

単位: km/h

主要渋滞箇所名	市町村名	選定時			最新			道路整備事業	
		平均速度(H24.4-H24.8平均)			平均速度(H28.3-H29.2平均)			主な整備内容	整備時期
		平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼		
消防南分遣署前(仮)	日向市	23.2	17.9	23.0	24.0	26.8	24.6	東九州自動車道(日向IC～都農IC)	H26.3
		0.8			0.8	8.9	1.6		
美々津中入口	日向市	6.8	4.9	7.8	19.2	14.5	15.5	東九州自動車道(日向IC～都農IC)	H26.3
					12.4	9.6	7.7		
お倉ヶ浜海水浴場入口	日向市	13.1	8.8	10.6	21.5	22.9	23.2	東九州自動車道(日向IC～都農IC)	H26.3
					8.4	14.1	12.6		
道の駅入口	日向市	23.7	24.8	18.4	34.7	26.1	24.4	東九州自動車道(日向IC～都農IC)	H26.3
					11.0	1.3	6.0		
美々津	日向市	6.7	9.1	9.5	23.5	26.7	26.5	東九州自動車道(日向IC～都農IC)	H26.3
					16.8	17.6	17.0		
雷管通り	延岡市	3.5	3.8	3.6	3.8	3.3	3.9	雷管通り交差点改良	H26.2
					0.3	-0.5	0.3		

解除候補
箇所

解除候補
箇所

解除候補
箇所

解除候補
箇所

※下段は選定時からの増減

データ: プローブデータ流入方向の旅行速度より
(道路整備された方向の最低速度)

2. 主要渋滞箇所の解除

(3)解除候補箇所の速度状況

■対策済箇所

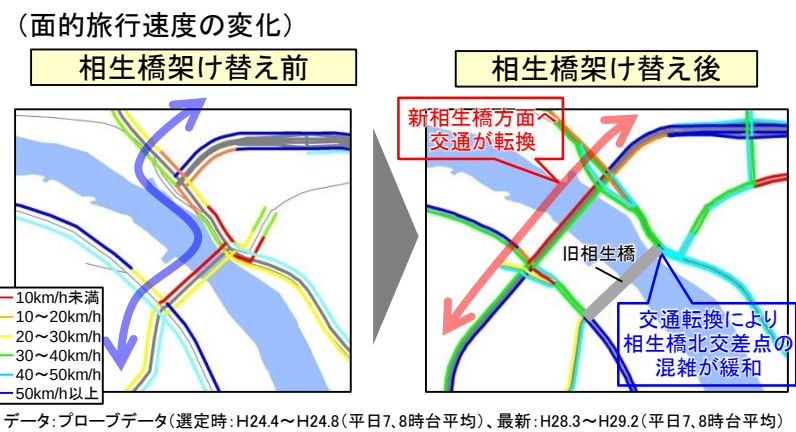
①相生橋北交差点

- 平成27年2月の相生橋の架け替えにより交通が転換し、県道26号上下方向および市道の渋滞が解消。
- 相生橋北交差点直近のプローブデータでも全ての方向で20km/h以上となっており、主要渋滞箇所の特定要件をクリア。
- また、現地状況でも渋滞解消を確認。

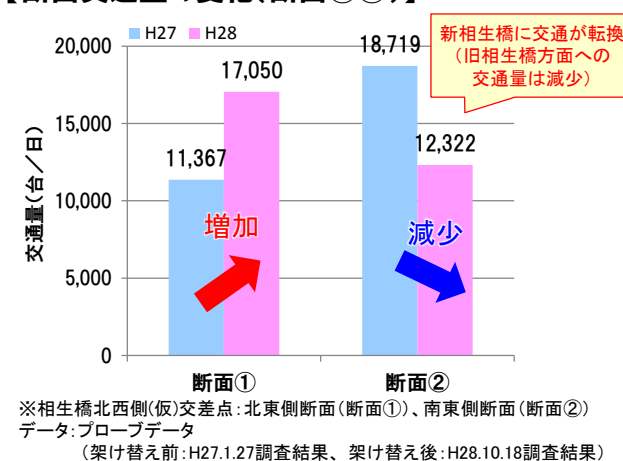
【交差点位置図】



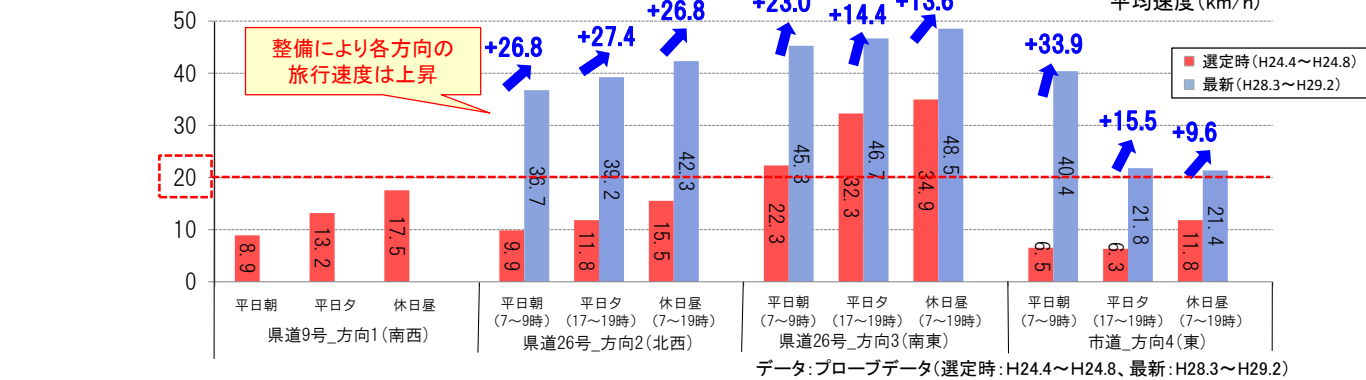
【旅行速度の変化】



【断面交通量の変化(断面①②)】



(相生橋北交差点直近リンクの旅行速度の変化)



○相生橋北交差点は速度状況および現地確認の結果、渋滞解消が確認できるため解除候補箇所とする。

2. 主要渋滞箇所の解除

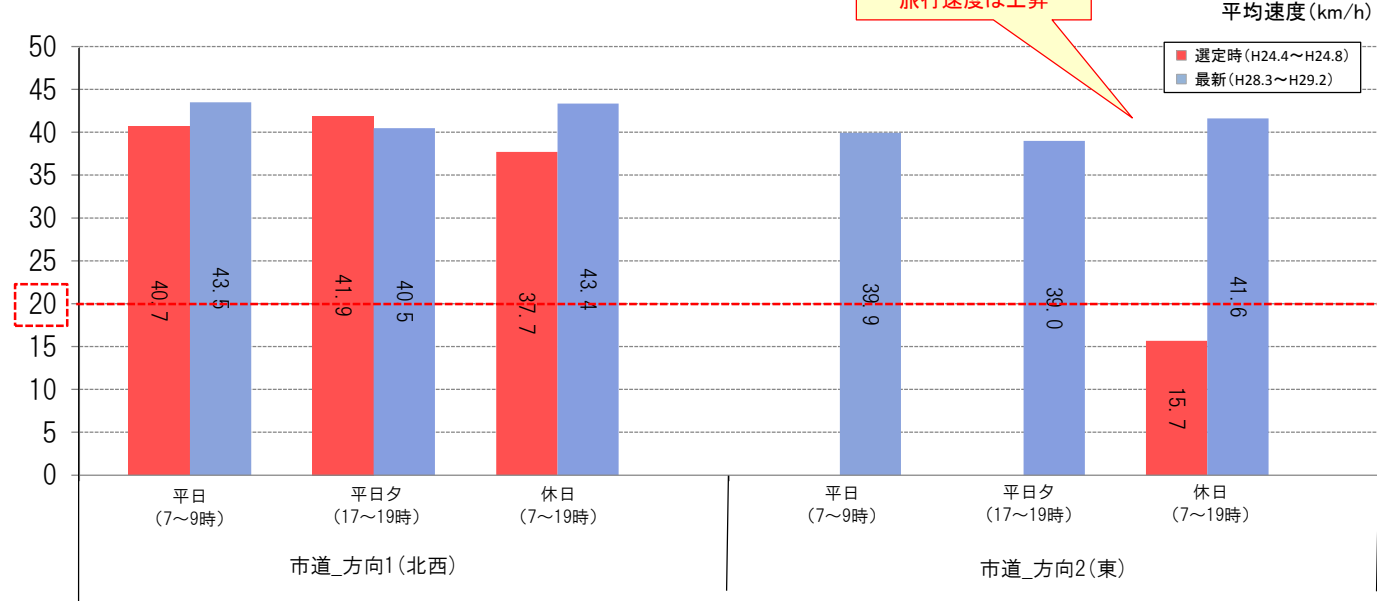
②吾妻町(仮)交差点

- 平成25年3月の川原通り線(出来島工区)の道路拡幅に伴う速度向上により、川原通り線の渋滞が解消するとともに、プローブデータでも全ての方向が20km/h以上となっており、主要渋滞箇所の特定要件をクリア。
- また、現地状況でも渋滞解消を確認。

【交差点位置図】



【旅行速度の変化】



(H29.7.30撮影)

データ: プローブデータ(選定時: H24.4~H24.8、最新: H28.3~H29.2)

○吾妻町(仮)交差点は速度状況および現地確認の結果、渋滞解消が確認できるため解除候補箇所とする。

2. 主要渋滞箇所の解除

③お倉ヶ浜海水浴場入口交差点 ④道の駅入口交差点

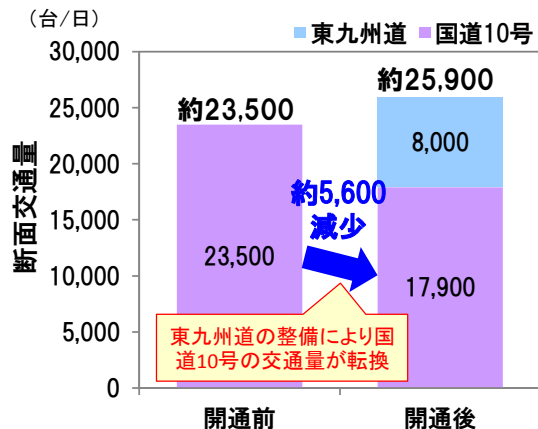
○平成26年3月の東九州道(日向IC～都農IC)の開通により交通が転換し、国道10号上下方向の渋滞が解消するとともに、プローブデータでも全ての方向で20km/h以上となっており、主要渋滞箇所の特定要件をクリア。

○また、現地状況でも渋滞解消を確認。

【交差点位置図】



【断面交通量(日向IC～都農IC間)の変化】



データ: 交通量調査結果(延岡河川国道事務所・NEXCO西日本記者発表資料)
開通前: H25.3.18～H25.3.22平均値、開通後: H26.3.17～H26.3.20平均値

(お倉ヶ浜海水浴場入口)



(H29.7.28撮影)

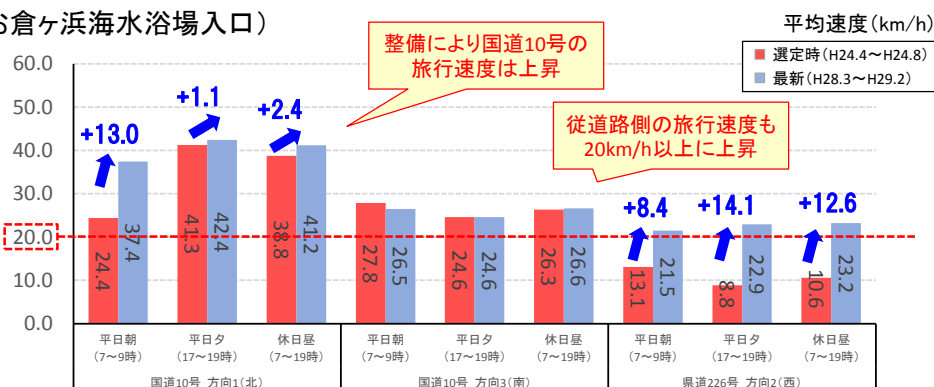
(道の駅入口)



(H29.7.30撮影)

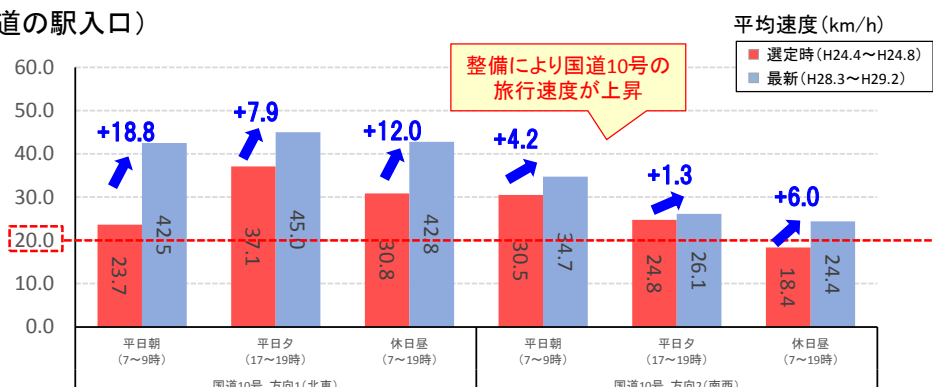
【旅行速度の変化】

(お倉ヶ浜海水浴場入口)



データ: プローブデータ(選定時: H24.4～H24.8、最新: H28.3～H29.2)

(道の駅入口)



データ: プローブデータ(選定時: H24.4～H24.8、最新: H28.3～H29.2)



○お倉ヶ浜海水浴場入口交差点及び道の駅入口交差点は速度状況および現地確認の結果、渋滞解消が確認できるため解除候補箇所とする。

2. 主要渋滞箇所の解除

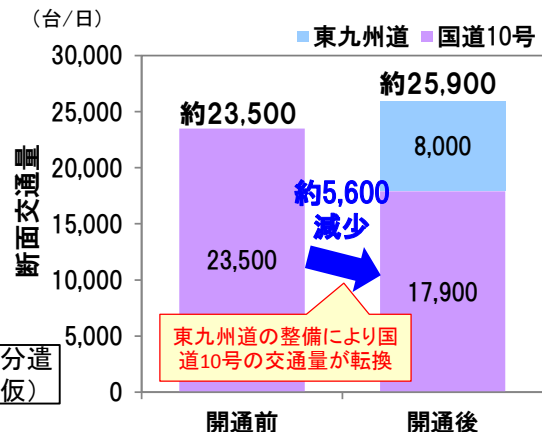
⑤消防南分遣署前(仮)交差点 ⑥美々津交差点

○平成26年3月の東九州道(日向IC～都農IC)の開通により交通が転換し、国道10号上下方向の渋滞が解消するとともに、プローブデータでも全ての方向で20km/h以上となっており、主要渋滞箇所の特定要件をクリア。
○また、現地状況でも渋滞解消を確認。

【交差点位置図】



【断面交通量(日向IC～都農IC間)の変化】



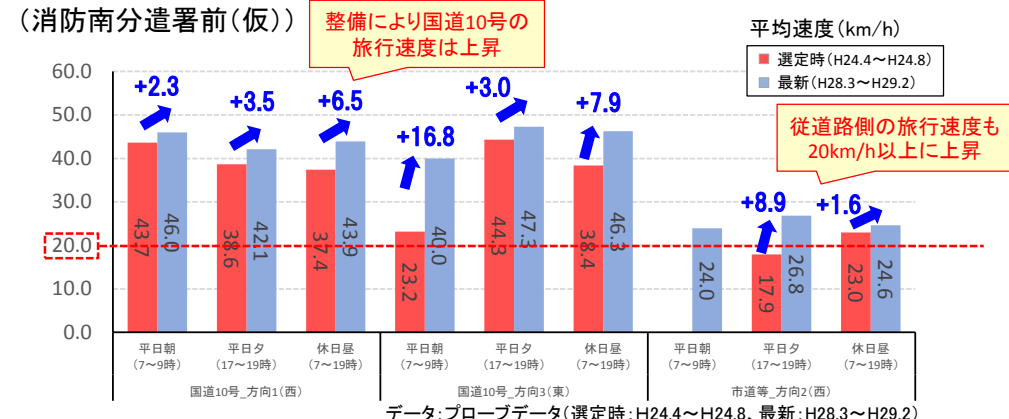
(消防南分遣署前(仮))



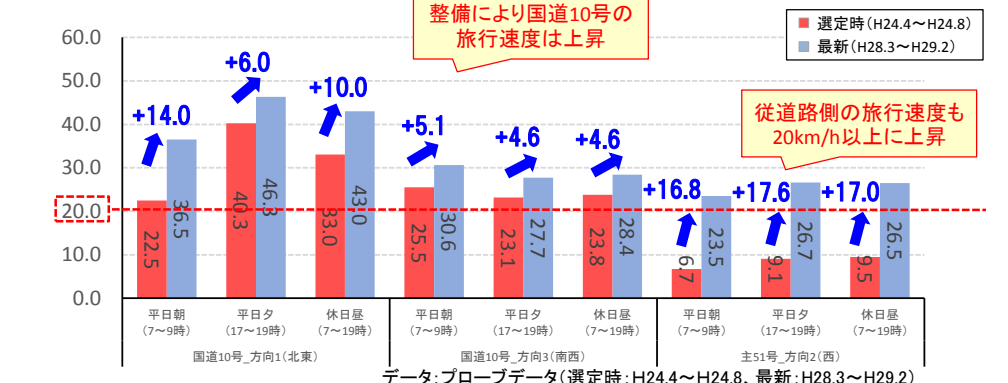
(美々津)



【旅行速度の変化】



(美々津)



○消防南分遣署前(仮)交差点及び美々津交差点は速度状況および現地確認の結果、渋滞解消が確認できるため解除候補箇所とする。

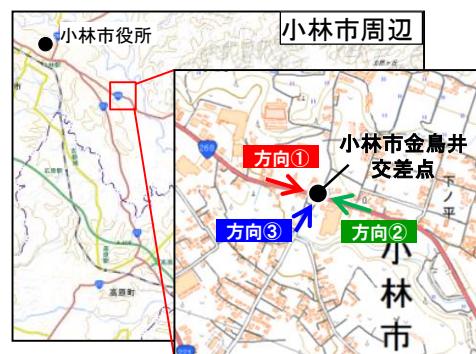
2. 主要渋滞箇所の解除

■未対策箇所

⑦小林市金鳥井交差点

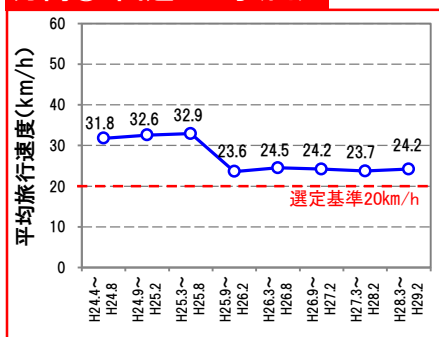
- 小林市金鳥井交差点は、渋滞対策を実施していないが、プローブデータで全ての方向が20km/h以上となっており、主要渋滞箇所の特定要件をクリア。
- また、交通量も減少傾向となっており、現地状況でも渋滞解消を確認。

■位置図

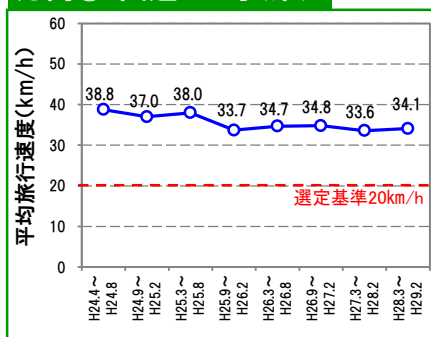


■ピーク時平均旅行速度

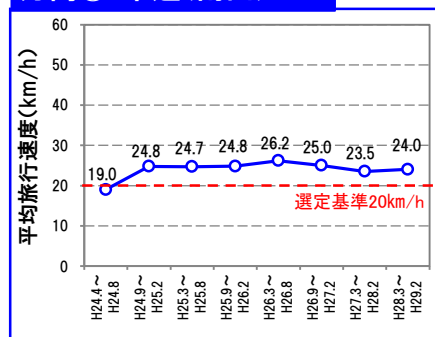
方向①: 国道268号(西)



方向②: 国道268号(東)

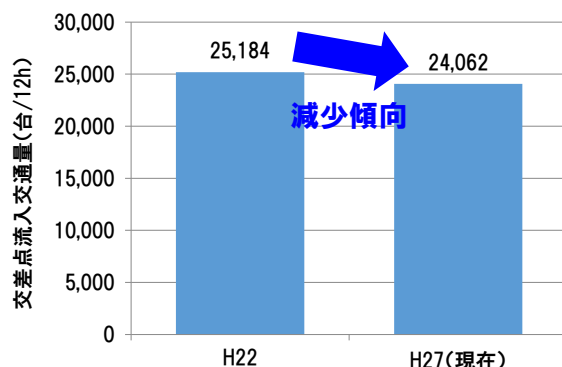


方向③: 市道(南西)



データ: プローブデータ

■交差点流入交通量の変化



データ: 道路交通センサス ※方向①～②の合計

■現地の交通状況



現地状況も渋滞が確認されない

○小林市金鳥井交差点はデータおよび現地確認の結果、渋滞解消が確認できるため解除候補箇所とする。

3. 最新データによるモニタリング結果の報告

■H28モニタリング結果の報告

<小戸之橋架け替えおよびバスレーン規制変更による速度状況の変化>

○小戸之橋架け替えに伴い、並行する赤江大橋、大淀大橋等が速度低下。

○バスレーン規制変更に伴い、車線減少した橋橋および並行する橋梁に大きな速度変化は見られない。

※小戸之橋架け替え工事：H25.11.1工事着手（既設橋撤去）～H33.3完成（予定）

※バスレーン規制変更：H28.2.1～

■面的な旅行速度モニタリング（宮崎市、朝ピーク）

<小戸之橋全面通行止めのチラシ>

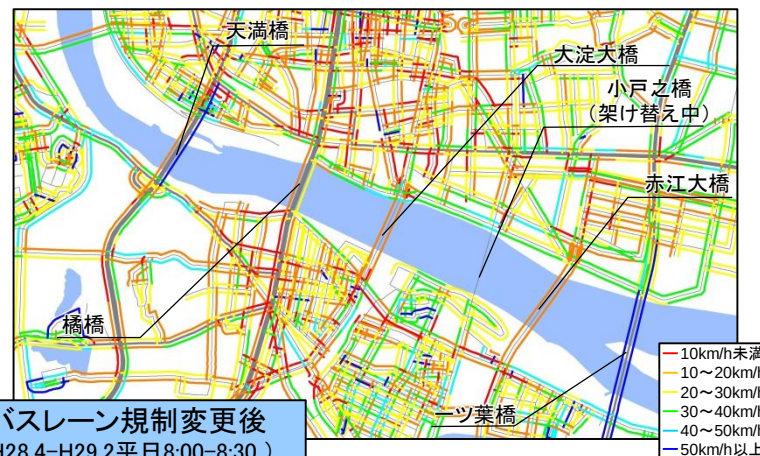
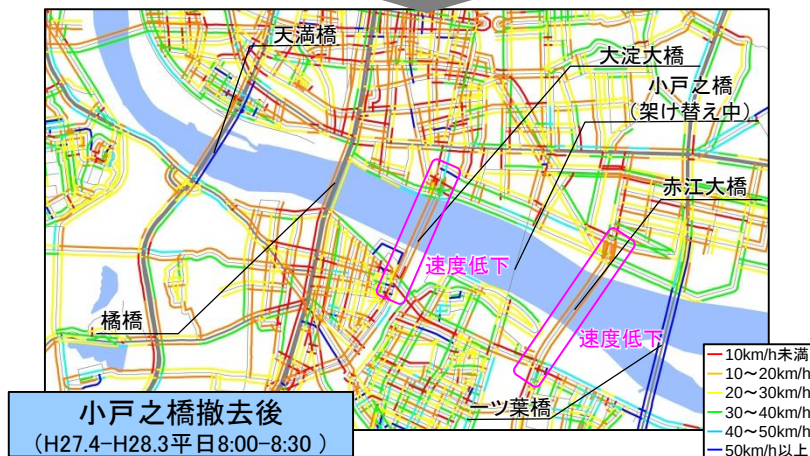
<バス規制変更のPRチラシ>



資料：宮崎市



資料：宮崎県警



3. 最新データによるモニタリング結果の報告

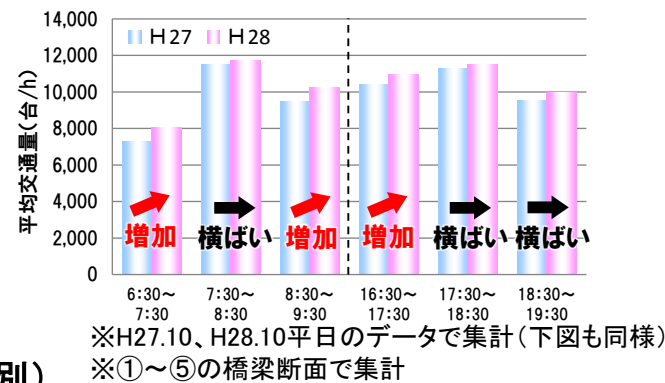
<バスレーン規制変更に伴う交通量の変化>

- バスレーン規制変更後(H28.10)の橘橋周辺5橋梁の断面交通量は、昨年度同月に比べ全体的に増加傾向にあるものの、規制時間帯においては横ばい。【利用時間の分散】
- 橋梁別の交通量は、規制時間帯前後において、橘橋、大淀大橋、赤江大橋、一ツ葉大橋は一部時間帯で増加。【利用時間の分散】
- 規制時間帯は、橘橋は朝夕で減少し、赤江大橋、一ツ葉大橋は増加。【交通の分散】

■集計位置



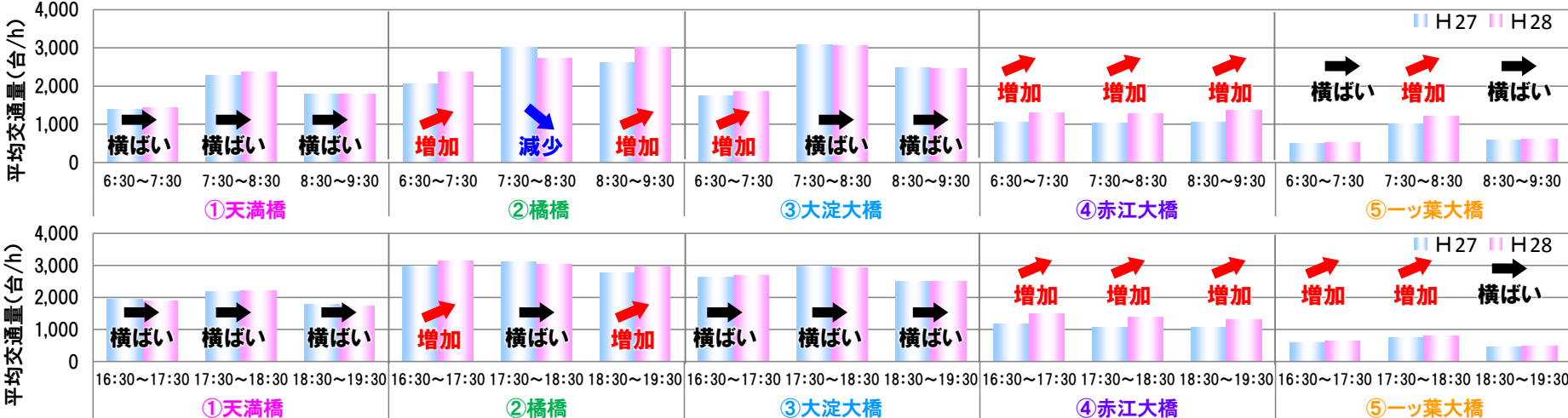
■時間帯別平均交通量の変化(断面)



■バスレーン規制時間帯の交通状況(橘橋)



■時間帯別平均交通量の変化(橋梁別)



4. 今後の渋滞対策の進め方

(1) 渋滞対策の進め方

→H28宮崎県渋滞対策協議会で合意した渋滞対策の進め方の手順について説明



(2) 既存の対策事業

→各エリアにおける既存のハード対策事業について説明



(3) 局所的交差点改良検討

→局所的な交差点改良の対策済内容について説明



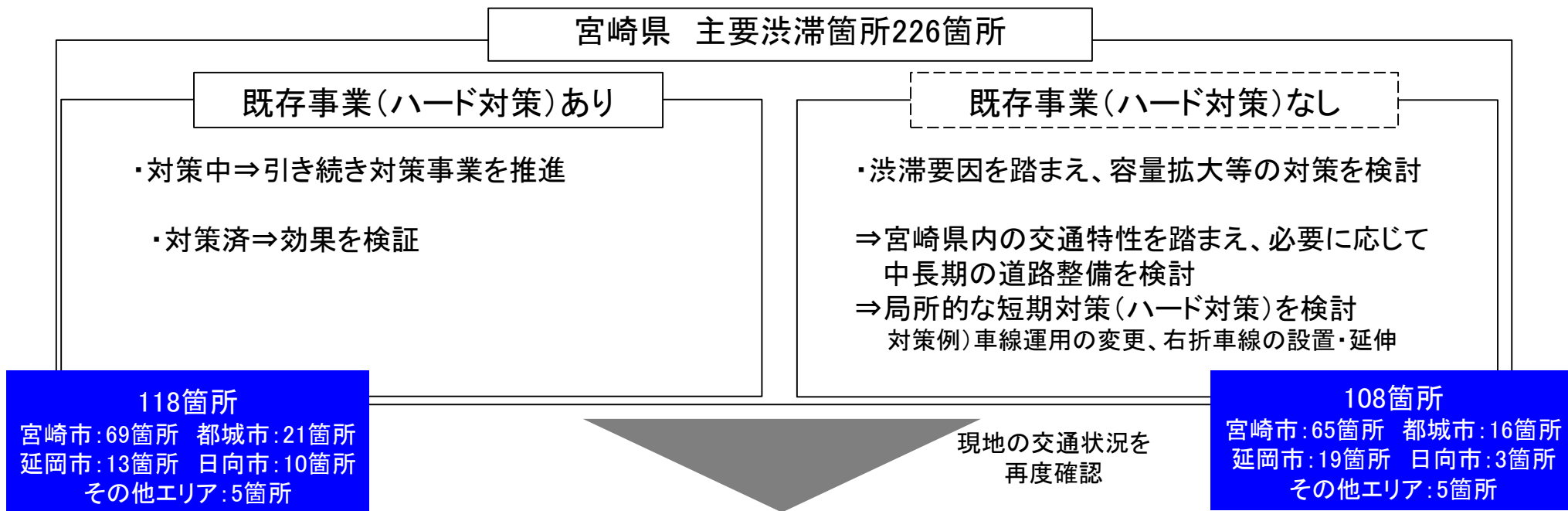
(4) ソフト対策の取り組み例

→道路を賢く使う視点を踏まえたソフト対策について
実施内容の確認と今後の対策案について議論

4. 今後の渋滞対策の進め方

(1) 渋滞対策の進め方

- 既存事業(ハード対策)がある主要渋滞箇所のうち、対策中の箇所については引き続き事業を推進、対策済箇所については効果検証を行う。
- 既存事業(ハード対策)がない主要渋滞箇所については、中長期の道路整備や局所的な交差点改良等を検討していく。
- 今後は既存事業(ハード対策)の有無にかかわらず、宮崎県全体でソフト対策の対応方針を検討していく。



ソフト対策の対応方針を検討 ※道路を賢く使う視点で検討

対策例;

- 交通手段の変更:バス・自転車の利用促進
- 交通需要の抑制(利用時間帯の変更):ノーマイカーデーの推進、時差出勤の導入
- 経路の変更:情報板による渋滞状況の提供

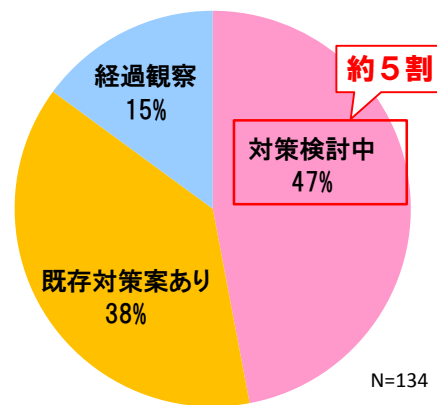
4. 今後の渋滞対策の進め方

(2)既存の対策事業

■宮崎市周辺エリア(現状)

- 昨年度宮崎駅東通線(2・3工区)の事業化等により、並行する主要渋滞箇所が緩和が見込まれる箇所となった。
 - 宮崎西環状線等の環状道路の整備および市街地部の道路整備により、交通容量の拡大を図っている。
 - 一方、宮崎市周辺エリアの主要渋滞箇所134箇所のうち、宮崎市中心部等に対策検討中箇所が65箇所存在(約5割)し、課題となっている。
- ⇒今後、ハード対策およびソフト施策の検討が必要。

<対策実施状況>



【主要渋滞箇所】

- … 今後、具体的な対策を検討する箇所(対策検討中箇所)
- … 計画事業によって解消・緩和効果が見込まれる箇所
- … 計画事業の整備が完了し経過観察中の箇所



凡 例

<主要渋滞箇所>

● 区間

<道路種別>

— 高速道路

— 直轄国道

— 一般県道以上

<対策>

● ● ● 宮崎西環状線(未供用)

— 宮崎西環状線(供用中)

— 対策事業区間(事業中)

— 対策事業区間(開通済)

○ スマートIC(事業中)

<その他>

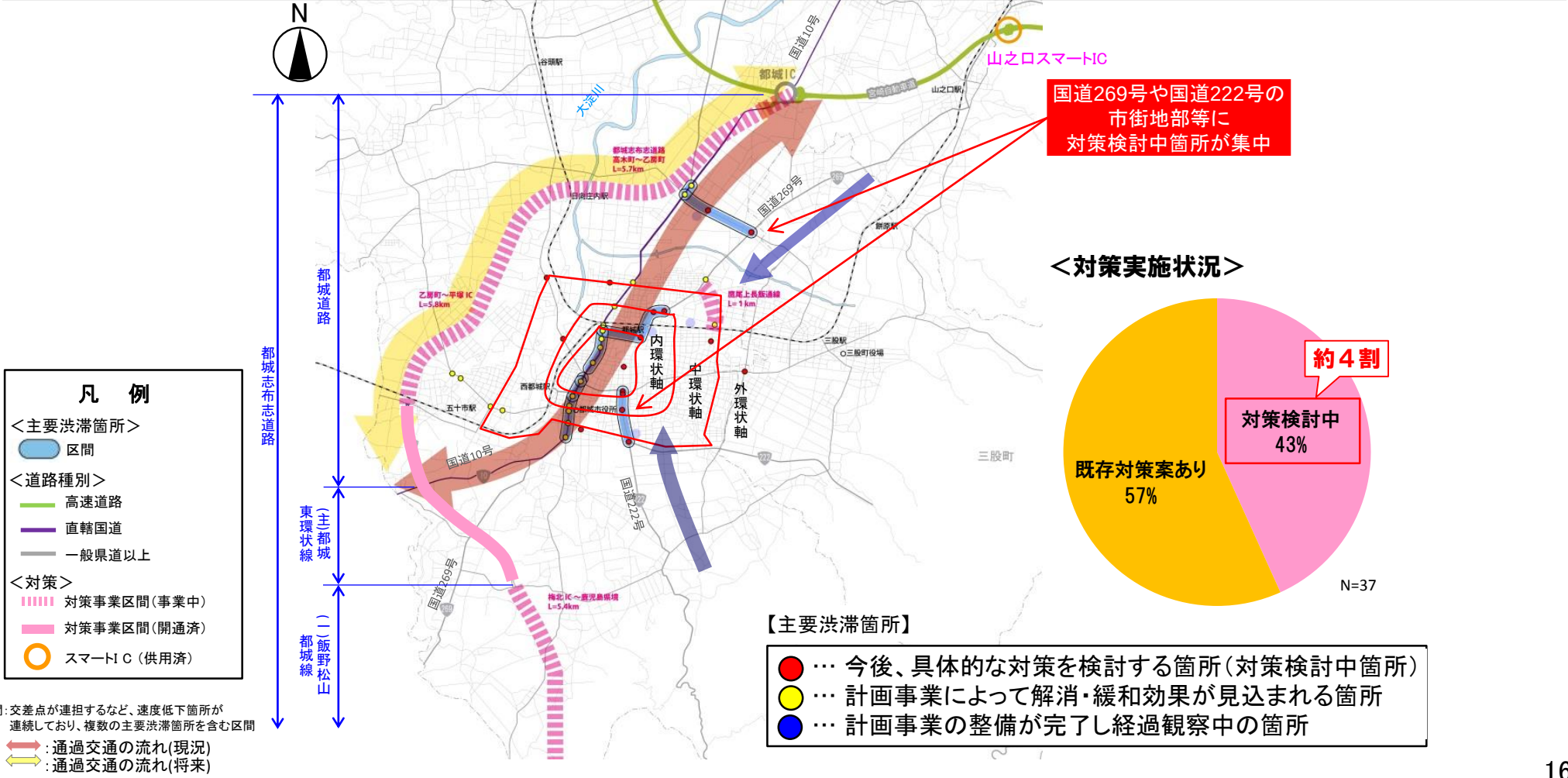
● 市中心部

箇所: 単独で主要渋滞箇所を形成
区間: 交差点等が連担するなど、速度低下区間が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

4. 今後の渋滞対策の進め方

■都城市周辺エリア(現状)

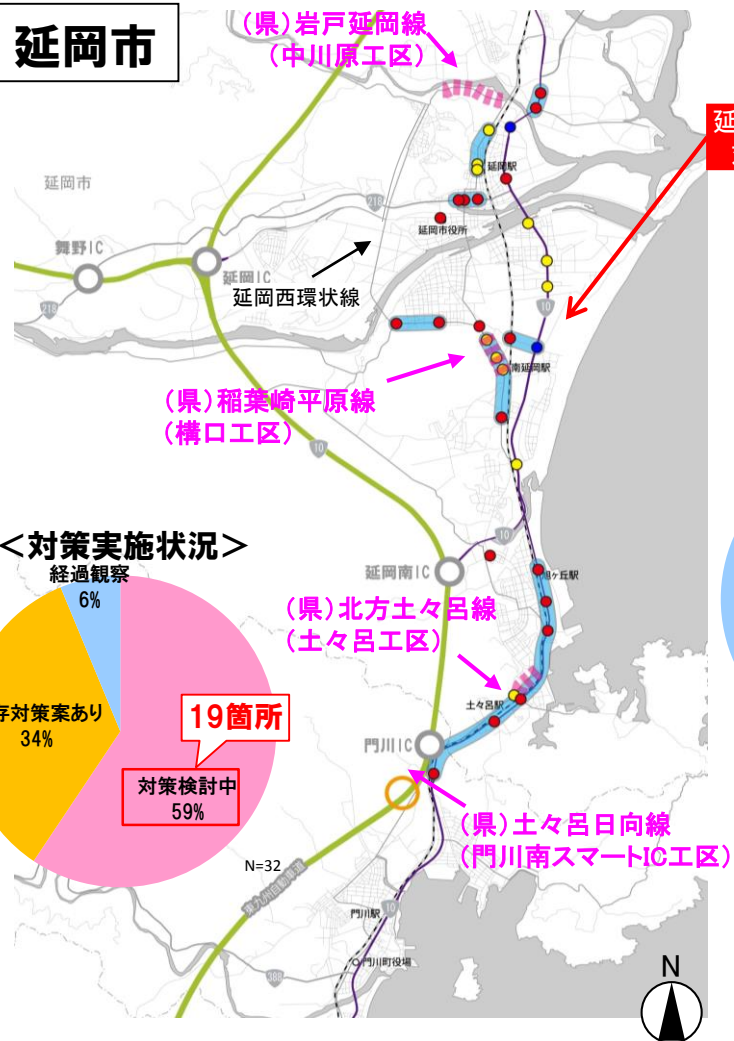
- 都城志布志道路等の整備により、渋滞軽減を図っている。
→事業が完了すれば、国道10号等の渋滞軽減が期待される。
- 一方、都城市周辺エリアの主要渋滞箇所37箇所のうち、都城市中心部等に対策検討中箇所が16箇所存在(約4割)し、課題となっている。
- ⇒今後、ハード対策およびソフト施策の検討が必要。



4. 今後の渋滞対策の進め方

■延岡市・日向市周辺エリア(現状)

- 環状交通軸(延岡西環状線)や市街地中心縦断軸((県)稲葉崎平原線)の整備により、渋滞軽減を図る。
- 延岡市・日向市周辺エリアの主要渋滞箇所45箇所のうち、延岡市2箇所、日向市5箇所については対策実施済み。
- 延岡市19箇所、日向市3箇所存在する「対策検討中箇所」については、今後ハード対策およびソフト施策の検討が必要。



【主要洪滞箇所】

- … 今後、具体的な対策を検討する箇所(対策検討中箇所)
- … 計画事業によって解消・緩和効果が見込まれる箇所
- … 計画事業の整備が完了し経過観察中の箇所

凡 例

＜主要渋滞箇所＞

区間

＜道路種別＞

—— 高速道路

一 直轄国道

船員送以上

般采道以上

＜対策＞

対策事業区間(事業中)

対策事業区間(開通)

○ スマートIC(供用済)

4. 今後の渋滞対策の進め方

(3)局所的交差点改良検討(事例紹介)

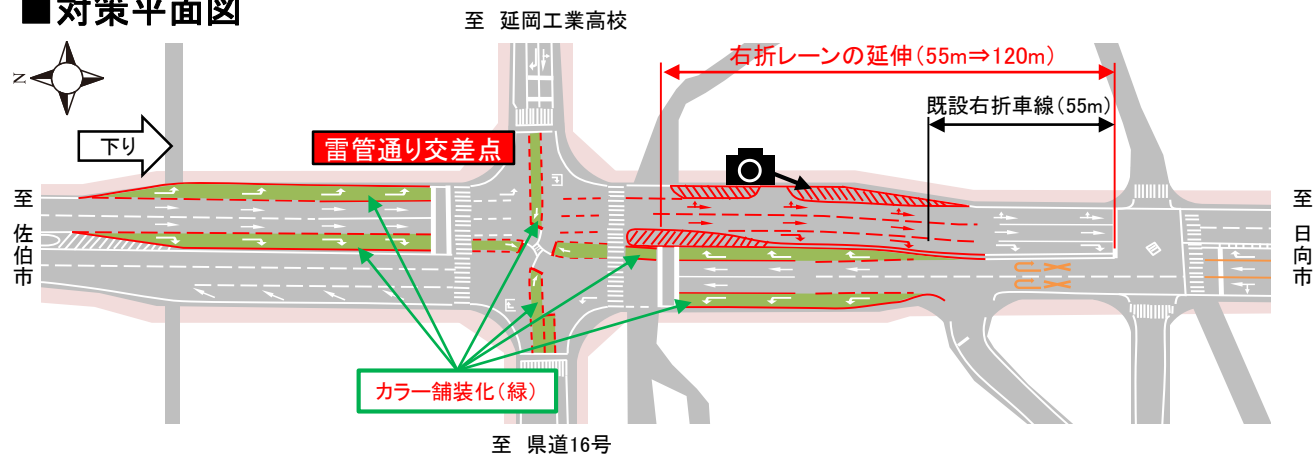
■雷管通り交差点改良(対策済箇所)

- 雷管通り交差点(延岡市)では、国道10号の下り側隣接交差点の右折レーンが短く、右折滞留車両による直進車両阻害が発生
- 既存道路の空間を有効活用し、右折レーンの延伸および右左折レーンのカラー舗装化を実施(H26.2)
- ・国道10号下り側の右折レーン延伸により、右折車両の滞留スペースを確保し、後続直進車両の走行を円滑化

■位置図



■対策平面図



対策前



対策後



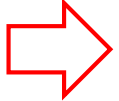
4. 今後の渋滞対策の進め方

(4)ソフト対策の取り組み例

■宮崎県内で実施されているソフト対策の取り組み内容と今後の展開

- 対策事業の有無に関わらず、道路を賢く使う視点を踏まえて、ソフト対策を推進していく必要がある。
- 現在、宮崎県内では、ノーマイカーデーやバス利用促進等様々な施策が行われている。

項目			取組内容
方針	視点	施策	
交通需要マネジメントでネットワークを最適利用	手段の分散	ノーマイカーデー	ノーマイカーデーの実施(毎週水曜日・金曜日)
		バス利用への転換	時短バス、エコ通勤割引、バスレーン規制の変更、ICカード、ポイントキャンペーン、PTPS、バスロケ(実証実験中)、コミバス
		自転車利用への転換	自転車ネットワーク・駐輪場の整備推進
		公共交通機関への転換	JRとバスの連携強化(宮崎駅等)、タクシー待機場設置
	時間の分散	時差出勤	エコ通勤割引
	経路の分散	道路交通情報の提供	道路情報板設置による環状線等への案内・誘導
		有料道路料金施策	有料道路の半額化による環状線への案内・誘導
	イベント時の交通分散	各種混雑緩和施策	パーク&バスライド、シャトルバス、臨時列車、臨時駐車場、情報提供(混雑・規制箇所・駐車場空車情報提供等)
主要施設と高速道路を極力直結	地域活性化	高速道路の有効活用	山之ロスマートIC、国富スマートIC(仮称)、門川南スマートICの整備



○ソフト対策の今後の具体的な実施内容については、協議会等で議論を行っていく。

4. 今後の渋滞対策の進め方

■ノーマイカーデーの実施内容・今後の実施内容(案)

- 各自治体でノーマイカーデーを推進しており、ノーマイカーデー実施日の実施率は約6割～7割。
- 宮崎県ではチラシを作成し、配布中(環境負荷軽減の取組みとして実施)。
- 環境月間の6月では、ノーマイカーデーの水曜日において朝ピーク時の混雑が通常に比べ若干緩和。

■各自治体のノーマイカーデー実施状況

	実施状況	実施率
宮崎県	・毎週水曜日実施 ・普及啓発 ・環境みやざき推進協議会の取組み	約70%
宮崎市	・毎週水曜日実施 ・他機関に実施を呼びかけ	約60%
都城市	・エコオフィス活動の一環として月一回実施	—
新富町	・毎週金曜日実施	—
高鍋町	・月1回環境負荷軽減の取組として実施	—

■宮崎県作成のPRチラシ



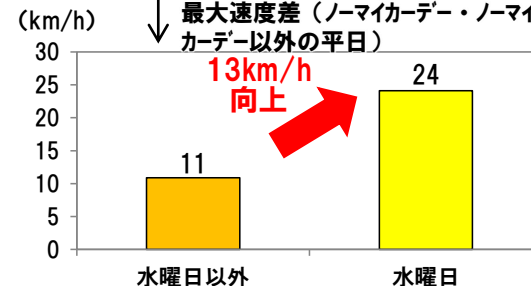
■混雑状況の変化 ＜ノーマイカーデー以外＞



＜ノーマイカーデー(水曜日)＞



主な速度変化箇所である点線内の最大速度差(ノーマイカーデー・ノーマイカーデー以外の平日)



資料:プローブデータ(6月平日7時45分～8時平均値)

《ノーマイカーデーの今後の実施内容(案)》

- ノーマイカーデーの取組み効果を確認し普及を広げるため、県内で最も混雑が激しい宮崎都市圏を対象として、各行政団体が試行的に一斉に取組みを実施し、効果を把握、PRすることでノーマイカーデー実施促進を図る。

4. 今後の渋滞対策の進め方

■バス利用促進の実施内容・今後の実施内容(案)

- バスレーン規制の変更による所要時間の短縮に伴い、バスの利便性が向上し、乗降客数が増加(+約6千人/月)。
- 平成29年3月にPTPSの試験運用が開始(試験区間:江平～市役所前)されており、バスの更なる利便性向上が期待される。

■バスレーン規制変更による効果

＜バス規制変更のPRチラシ＞

平成28年2月1日(月)から
宮崎市内の **バスレーン規制が変わります**
～渋滞緩和、CO2排出削減のため、公共交通機関を利用しましょう！～

～変更内容～

- ① バス専用レーン規制区間の短縮(右図を参照)
江平五差路から 江平五差路から
宮交シティ前まで 中村交差点まで
- ② 橋上(国道220号)のバスレーン規制変更
「バス優先レーン」⇒「バス専用レーン」
- ③ バス専用レーン規制時間の変更
07:00～09:00 (2時間) ⇒ 07:30～08:30 (1時間)
17:00～19:00 (2時間) ⇒ 17:30～18:30 (1時間)
- ④ バス専用レーン規制が行われる曜日の変更
平日、土曜日 (日曜、休日を除く) ⇒ 平日のみ(月～金) (土曜、日曜、休日を除く)

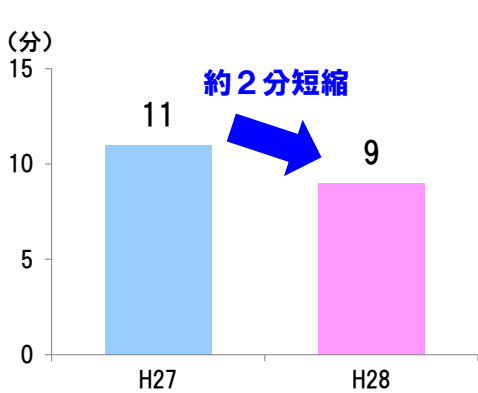
○バス専用レーンの通行方法
バス専用レーンが設けられている場合、道路標識等によって指定されているバス以外の車両は、その専用通行帯を通行してはならない。(道路交通法第20条第2項)
ただし、例外的に通行可能となる場合(車両)は以下のとおり。
○ 自動二輪車、原付バイク車及び自転車などの軽車両
○ 直近の交差点を左折する場合
○ 道路の状況その他の事情でやむを得ない場合
原則、規制時間内はバスレーンの通行ができません！
自動二輪車、原付、自転車などの軽車両は通行可能です。
この機会に、バス専用レーンの通行方法をおさらいしましょう。
左折時は、交差点の直前(約30m手前)から車線変更を行ってください。

問い合わせ先
宮崎県警本部 (0985-31-0110) 交通課
宮崎県警本部 (0985-31-0110) 交通課

＜位置図＞

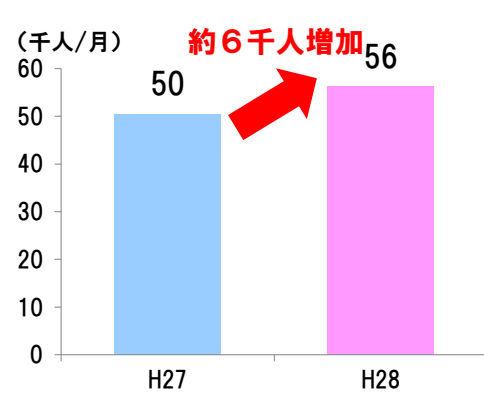


＜所要時間の変化＞



※宮シティ～橋通り1丁目間の所要時間

＜朝タピーク時の乗降客数の変化＞



※バスレーン規制区間内の乗降客数
資料: 宮崎交通提供資料(4月～11月平日平均値)

■PTPS試験運用概要

実施者: 宮崎交通(宮崎県警協力)
試験期間: 平成29年3月27日(月)から
稼働時間: バスレーン規制時間帯(平日のみ)
① 7:30～8:30、② 17:30～18:30 の
試験区間: 宮崎市役所前交差点から江平五差路までの区間の一部
試験車両数: 路線バス20台
試験便数: 28便(朝14便、夕14便)

資料: 宮崎交通HP

《バス利用促進の今後の実施内容(案)》

OPTPS設置後の所要時間・乗降客数の変化等を把握し、PTPS設置・バスレーン規制変更によりバスの利便性が向上したことをPRし、バス利用の促進を図る。

4. 今後の渋滞対策の進め方

■延岡市・日向市周辺エリアで実施しているソフト対策

○現在延岡市・日向市ではノーマイカーデーや自転車利用促進の取り組み等を行っている。

延岡市

ノーマイカーデーの実施

実施団体
延岡市役所

対象
延岡市役所職員

取組概要
延岡市環境保全率先実行計画(延岡市地球温暖化対策実行計画)(h24.4)の取り組みの一つとし、「市職員は毎週1回以上をノーマイカーデーとし、公共交通機関の利用や自転車、徒歩による通勤に努め、大気汚染や地球温暖化の要因である自動車通勤を自粛」。

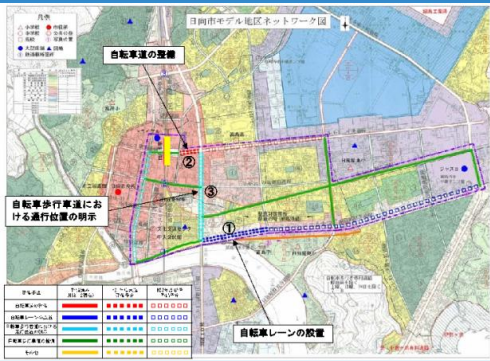
資料:延岡市環境保全率先実行計画(H24.4)

日向市

自転車利用空間の整備

実施団体
国土交通省
延岡河川国道事務所
宮崎県警察本部
宮崎県
日向市

取組概要
自転車レーンの設置、自転車道の整備を推進し、安全に通行できる自転車走行空間を提供。
自転車の利用を促進する。



資料:国土交通省延岡河川国道事務所(H20.1.17記者発表資料)

宮崎県内

エコ通勤割引の実施

実施団体
みやざきエコ通勤割引利用促進協議会
宮崎交通

対象
一般市民

取組概要
・「エコ通勤割引」は、普段マイカーやバイクで通勤されている方が「エコ通勤割引パス」を取得すると、毎週水曜日(ノーマイカーデー)は、「エコ通勤割引パス」を提示いただくことで、一般路線バスを半額にて利用可能。



資料:宮崎交通株式会社

延岡市

公共交通活性化(市によるコミュニティバス)

実施団体
宮崎交通 延岡営業所
延岡市役所 企画課

対象
一般市民

取組概要
延岡市で、「まちなか循環バス」を運行。
自動車を運転しない人だけでなく、普段車を利用している市民も1日フリー乗車券(1日乗り放題)を活用でき、公共交通の活性化を図る。



資料:宮崎交通株式会社

➡

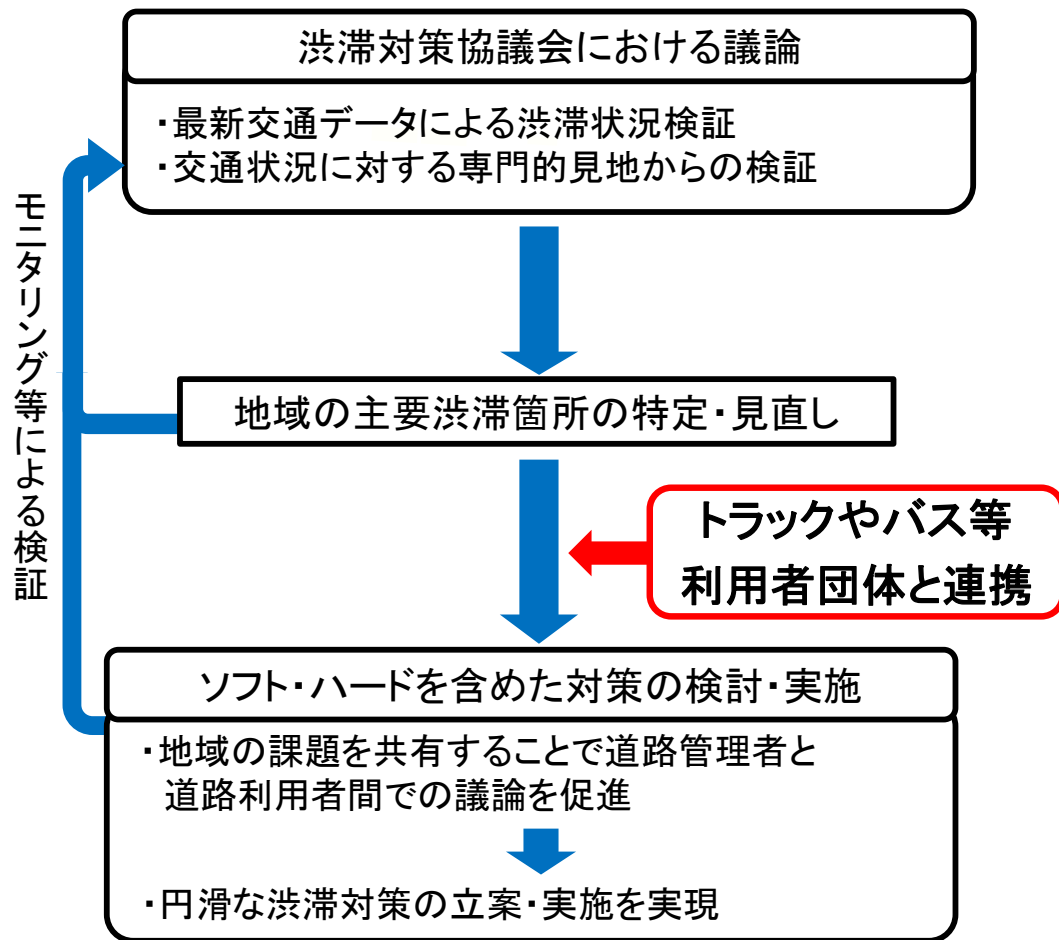
《ソフト対策促進の今後の実施内容(案)》

○各関係機関の横軸連携を深めて、ターゲットを絞った効率的な対策を行っていく。
○延岡市のコミバスに関連する会議とも協力して、渋滞対策を進めていく。

4. 今後の渋滞対策の進め方

■トラック・バス等の利用者団体と連携した渋滞対策

○人・物の輸送の効率化を図るため、渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、即効性のある渋滞対策を実施。



＜トラックが渋滞に巻き込まれている状況＞



＜バスが渋滞に巻き込まれている状況＞

平成29年度は中部・中国ブロックの11箇所で対策を実施

5. 今後のスケジュール

■今後の進め方

- 最新の交通データを収集・整理し、主要渋滞箇所の交通状況のモニタリングを実施
- 構築した検討体制により、モニタリング結果等を有効に活用し地域毎の渋滞対策の検討を推進

“交通渋滞対策協議会”による議論

- 最新の交通データによる渋滞状況の検証
- 地域の交通状況の変化等に対する専門的見地からの検証
- 主要渋滞箇所の解除の承認 等

“エリアワーキング”による議論

- 交通状況のモニタリング（主要渋滞箇所のフォローアップ）
- 地域の交通課題の共有
- ソフト・ハードを含めた具体的な対策の検討・調整
- 協議会で諮る主要渋滞箇所の解除候補箇所の選定 等